

1型糖尿病モデル KDPラット



1型糖尿病のモデル動物LETLラット（大塚製薬特許取得）を起源とし、東京医科大学で糖尿病を高発症する系統として確立された。

糖尿病の発症は発症週齢に血糖値約100mg/dlの平常値から徐々に上昇するのではなく250mg/dl以上に急激に値が上昇する。

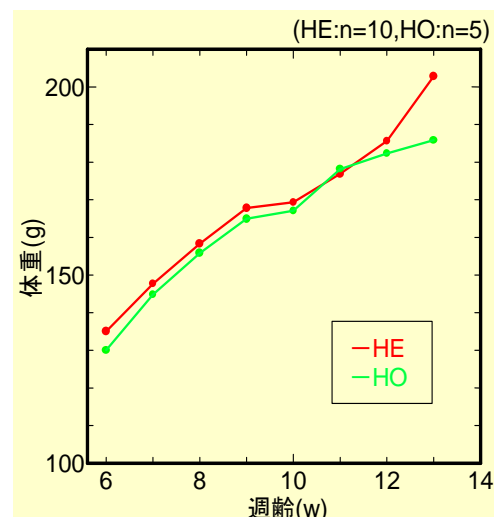
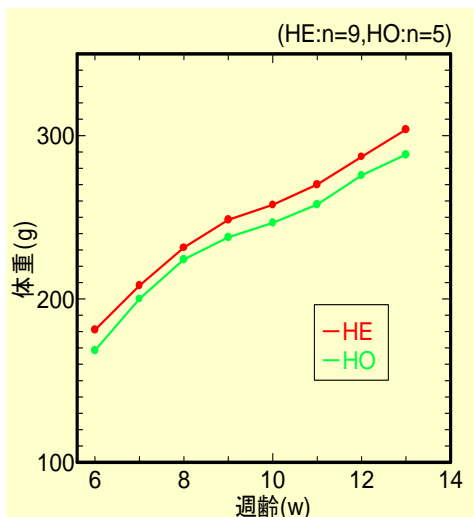
雌雄ともに高い発症率を示すが、雄のほうが早い段階で発症し、生存率が低い。

発症個体は全て重度の膵島炎を呈すが、Tリンパ球減少症は認められない。

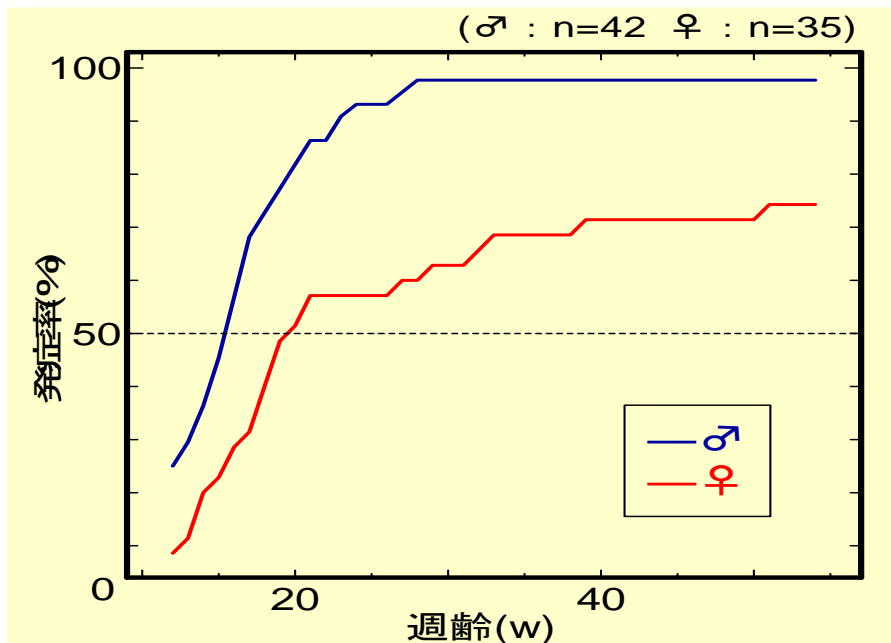
膵島炎および1型糖尿病の発症には第11染色体上の Cb1b遺伝子座と第20染色体上のMHC（主要組織適合遺伝子複合体）遺伝子座という2つの主要な遺伝子座が関与し遺伝的感受性の大部分が規定されて

ヘテロ同士の交配により生産、4週齢時テールを採取しPCR法によりホモ個体選別、判定結果の出る6週齢以降でホモ個体販売。

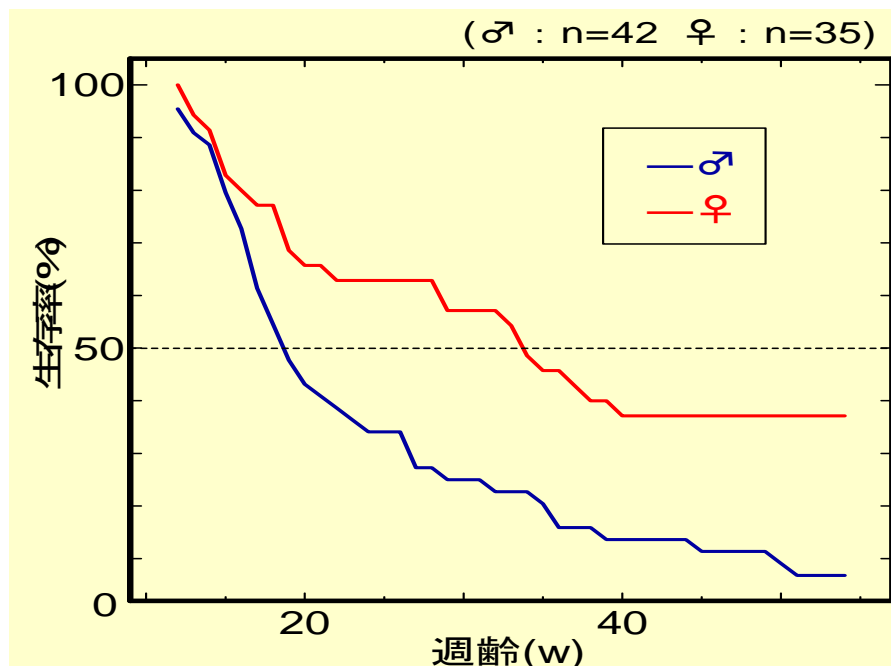
★ 成長曲線



★糖尿病の発症率



★生存率



《KDPラット使用における注意点》

- * 新たな生物資源(細胞株、卵、精子、胎児、遺伝子改変動物を含めた全ての関連する資源)を樹立する場合は、起源系統の特許権に対する確認が必要になります。
- * コントロールとしては、KNDラットを御利用願います。

お問い合わせ先

日本エスエルシー株式会社

静岡県浜松市湖東町3371番地の8

TEL : 053-486-3155 (関東エリア)

TEL : 053-486-3157 (関西エリア)

TEL : 0942-41-1656 (九州エリア)

FAX : 053-486-3156